

原発廃炉！年末年始も行動

原発の廃炉を求める金曜行動は17日、24日と四国電力本店前で取り組まれ、「原発近くは活断層」「フクシマの現状を忘れたのか。四国電力は、フクシマの過ちを繰り返すのか」など、思いをリレートークしました。急速に冬型が強まり強風が吹くときもありましたが、参加者は廃炉への思いを口にしました。



三豊市議選が今月23日告示

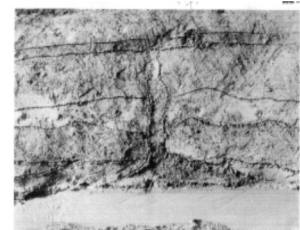
三豊市議選は今月23日告示、30日投票で行われます。定数は22。日本共産党は岩田ひで氏が町会議員も含めて6期目に挑戦します。岩田氏は、市独自のPCR検査の拡充と国民健康保険の給食費の無償化、学校や幼稚園などを統廃合させない、移動手段の確保、利用しやすいコミュニティバスの運行。特定団体への補助金となる同和行政の終結などを公約に頑張ります。この間も、昨年末大流行

高松東バイパス沿いの遺跡 50

林地区の遺跡Ⅵ 地震と考古学

末光 甲正

阪神・淡路大震災も遠くなり、東日本大震災ですでに十年。「災害は忘れられた頃来る」とは高知出身の寺田寅彦博士ですが、今では忘れぬ内に次々。昭和21(1946)年12月21日午前4時19分、南海地震を記憶する方も今や少数派ですが、香川で津波の死者52人。近年の遺跡調査で全国各地の地震跡の発見例が蓄積され、高松市内の遺跡でも多数確認。高松最初、そして香川はもとより四国最初の発見が、木太町の大池堤防から南約30㍎、林町一九四一番地の水田面下約一㍎で地震で噴き上った砂の跡でした。阪神大震災でポート・アイランドの埋立地で起ったのと同じ現象。水分を含んだ砂利の層が地震の揺れで泥水のようになる「液状化」現象を起こし、地震で出来た地割れを伝って噴水のように地上に噴出します。ここ林の場合は、地表下部約一㍎、約千八百年前・弥生時代後期の、豊で隠れる程の田圃の表面でした。あちこちに幅三、四㍎、長さ二、三㍎の、ヘビが這いまわった跡のような灰色の



噴砂Ⅱ土層断面図 高松市春日町。川南・西遺跡例

砂の筋目が出る都度、地下の砂層が地震で噴出したものか、注意して発掘するようになりました。三、四㍎幅の砂は、そこからさらに下部一㍎の厚さの砂の層を断ち割って噴き出した跡でした。噴出した砂は噴砂(ふんさ)と名づけられたこの砂の裂け目は、東西方向に走ってさらに一㍎もある粘土の層を破り、幅三、四㍎で噴き上っています。原因は、土佐沖で起って南の方角から揺れて来た、マグニチュードで7以上の地震で、弥生時代後期頃の南海地震の跡と判断されました。昭和63年度の事です。この判定は、伏石町生れて理学博士、通産省地質調査所・寒川旭(あきら)研究官。寒川さんは、それまで全国の地震の活断層(かつだんそう)などを研究されていましたが、古墳が地震の活断層で断ち切られる例がある事から、この年、地震と考古学の発掘調査を結びつけた「地震考古学」という新しい学問の分野を提唱し始められたところでした。この時に手ほどきして頂いた高松市の遺跡調査はヘビが這ったような砂の跡

新たな歴史をひらく参院選

日本共産党香川県委員会 委員長 中谷浩一



新年あけましておめでとうございます。昨年の総選挙では読者のみなさん大変お世話になりました。今年には日本共産党創立100周年記念の年です。総選挙では日本共産党としてはじめて政権に挑戦し政治情勢は新しい局面へと発展しました。そして白川よう子さんを国会へと、四国中から幅広い方々から応援をいただき、元気がいっぱいだったかいました。戦前、戦後と党の苦難の歴史を思えば、とうとうここまでできたかという思いと、先達の志を受け継ぐ責任を感じずにはいられません。

今回は支配層の総力をあげた反撃によって、思うような結果は出せませんでした。岸田内閣に代わってもゆきづまりを打開する力はまったくてきません。改憲だ、日米同盟強化だなどと、旧時代の遺物にしがみつきの、日本を戦争の危険にさらすなどと言うのはもってのほかです。

私たちの未来は、私たちの手でたたくかいたるしかありません。今年6月の参院選挙は、何倍もパワー

謹賀新年

二〇二二年元旦

民主香川社



アップして、新たな歴史の一步をひらいてきたいと思えます。また、香川県では、1月の三豊市議選に始まり4月の綾川町、小豆島町、まんのう町での町議選、夏には県知事選挙と、地方政治でも前進を勝ち取りたいと思えます。今年もよろしくお願いします。



参院比例予定候補 前参議院議員・弁護士 仁比そうへい

このたび来夏の参議院比例代表選挙に立候補を有意致しました。

私は、裁判でも国会でも、公害や戦争、大災害、性暴力や派遣切りなど被害者の皆さんと「絶対あきらめない」と力を合わせるとともに、前回僅差の次点で議席を失ったからも、コロナからくらしを守り、ジェンダー平等を実現するために頑張ってきました。あなたはどんな日本にしたいですか？ みんなを代表して、きちんと話し合い、最良の道を見いだすーそれが本来の国会です。コロナ危機でも現場や専門家の意見もきかず、まともにひらかない。私はそんな国会を変え、安心できるくらしと豊かなふるさとを取り戻したい。

いま岸田政権は日本を「戦争する国」に変えようとしています。真正面から立ち向かい、憲法が生きる日本をつくりたい。

参院比例は「全国が一つ」、50人を選ぶ選挙です。私を含む共産党の5議席絶対確保の先頭に立ち、なんとしても勝ちぬきます。もう一度、私を国会で働かせてください。

異台本

2022年寅の年今年もよろしく。12月9日の行動を12月19日付に報じていただきました。これに甘えて、新年早々の『太鼓台』紙上を借りて、「昨年最後の9の日の行動」報告をさせて頂きます。▼今にも雪が散らつくのでは？と思われる寒風の中、9日を上回った参加者でのスタンディングと訴えとなりました。『今年もあと2週間。大阪のビル火災で25人の死者。オミクロン感染拡大の予兆。今後の寒気と大雪が心配。それにも増して気になるのがこれからの日本』と始めて、『台湾有事を口実に活発化する「敵基地攻撃能力保有」と改憲審議促進の論議。「米軍戦闘機が10機行ったら日本も1機一緒に飛行するくらいでない」と同盟として機能しない』(15日元安倍首相の講演)。「他国の領域において移動式ミサイル発射機の位置をリアルに把握：地下に隠蔽されたミサイル基地の正確な位置を把握：制空権を一時的に確保し：ミサイル発射能力を無力化：攻撃の効果を把握した上で更なる攻撃を行う：先制攻撃そのものではないか(岸田首相が敵基地攻撃の為に必要な、パターンの一つと認めたオペレーション。17日参議院予算委員会での共産党小池晃議員への岸田首相答弁)」。参院選挙投票と合わせて改憲国民投票の実施(維新の要求)。▼いかに国民を危険な『戦争が出来る国づくり』の道に引き入れようとしているかが分かる。「民主香川」が多くの県民の発言、政治参加の場になることを期待して(寒さの為)早めに訴え・スタンディングを終え、宣伝カーは三豊市地域巡回にスタートしました(運転は岩本國治氏でした)。(も)